

上飯田 8 号線（マテバシイ通り）街路樹植樹案比較検討表

		高木			低木				
項目		ヤマボウシ (ミルキーウエイ)	マテバシイ	クロガネモチ		ヒラドツツジ	オオムラサキツツジ	ドウダンツツジ	サツキツツジ
特徴と特性		ヤマボウシの仲間としては葉が大きく、緑にボリュームがある。日当たりが良ければ花つきも多く、樹冠全体が白く見える程度に咲く。樹高はあまり高くない。自然な樹形がよく、基本的に剪定は不要。垂直な形で樹形が整うため、枝張りもなく狭い歩道への適用に向く。	まっすぐな幹で、樹形は広円柱形。葉はシ大きく、肉厚で硬い。裏面は褐色毛がある。10 月頃に大きく細長いドングリが熟する。剪定に弱いにも関わらず、成長が早く樹勢がある。剪定した箇所から腐食が進行し、カイガラムシ等の害虫の付着し倒木などの危険性を及ぼす。	葉は光沢があり濃緑色でボリュームがある。若枝や葉柄が赤紫色。11 月頃に実が付き、赤く熟し、野鳥の食餌木となる。剪定に強いが、そもそも樹高が高く、枝張りがあるので狭い歩道への適用は要検討。野鳥が実を食べた後の、フンの被害がある。		常緑低木で春頃に、枝先に大きな花を咲かせる。花の色は白やピンクなどがあり、色の濃淡も様々ある。刈り込みに強く萌芽力も強いのが特徴で、街路樹としてもよく使われる。日当たりがあまり良くない場所に植えると花つきが悪くなる傾向にある。	ヒラドツツジの一種。常緑低木で春頃に、枝先に大きな花を咲かせる。花の色は白やピンクなどがあり、色の濃淡も様々ある。以下、特徴や特性についてもヒラドツツジと変わらないが、オオムラサキツツジの方が若干株が小さい傾向にある。	落葉低木で春頃に、枝先に小さな白い花を咲かせる。夏頃に明るい緑で小葉の新芽をだし、秋頃には真っ赤に紅葉、冬頃に落葉する。枝分かれしやすい繊細な樹姿であり、剪定に強くコンパクトにまとまるので狭い場所に植栽でき、街路樹にも用いられる。	ツツジの一種。常緑低木で春頃に、枝先に大きな花を咲かせる。新芽が出るのはツツジと同時期であるが、花が咲くのはツツジより 1 か月程度遅い。特徴や特性についてもツツジと同様であり、刈込に強く、街路樹としても用いられる。
樹形と樹高									
イメージ									
区分		落葉樹	常緑樹	常緑樹		常緑樹	常緑樹	落葉樹	常緑樹
日常	花つき	有	無（ドングリ）	無		有	有	有（着葉もある）	有
	清掃	○	×	×		○	○	×	○
	日陰作用	○	◎	○		×	×	×	×
耐性	剪定	○	×	○		◎	◎	◎	◎
	代表的な病害虫	すす病 うどんこ病	黒点病 カイガラムシ	すす病 カイガラムシ		特にない	特にない	特にない	特にない
	積雪	◎	×	○		◎	◎	◎	◎
	風	◎	○	○		◎	◎	◎	◎
	暑さ	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎
生育条件	日光	◎	◎	◎		○	○	○	○
	水	○	○	○		○	○	○	○
評価		◎	×	○		◎	◎	○	◎